



高橋市長から委嘱状を受け取る長岡さん

北上市地域おこし協力隊 長岡さんへ委嘱状交付

北上市地域おこし協力隊に就任した長岡務さん(37歳)への委嘱状交付は1日、本庁舎で行われました。

市は28年度から総務省の「地域おこし協力隊」制度を活用し、地域活動に積極的な人材による地域おこし活動の推進と、隊員の定住および定着による地域活性化に取り組んでいます。

長岡さんは「口内地区新規就農プロジェクト」の隊員として活動を開始します。同プロジェクトは市と直売センター・北上協同組合との協働事業で、地域活性化に寄与できる農家としての自立を目指すもの。長岡さんは、農業から広がる可能性や産直を活用し

た地域農産物の販路拡大など、地域活性化につながる提案を評価され採用に至りました。今後は「受入団体および地域

「共生スポーツ祭り2017@東京体育館」に参加 スポーツのまちをPR

就農者との交流の中での営農知識の習得と研修「産地直売所と連携した地域での新規農産物の栽培や既存農産物を活用した6次産業化」「農産物や地域の魅力発信活動」などに取り組んでいく予定です。

「共生スポーツまつり@東京体育館」は3日から5日まで開催され、市は3日に参加しました。同まつりはすべての人が互いの個性を尊重し、多様なあり方を認め合える共生社会の実現を目的に開催。世代・年齢・境遇などを越えて人々をひとつにまとめる「祭りの力」を活用し、パラスポーツのほかさまざまな催しが行われました。

市もスポーツに親しみ健康で活力あるまちづくりを目指していることから、同まつりに参加。北上ヒルクライムやきたかみマラソンのチラシなどを配布し「スポーツで心と体が元気になるまち」をPRしました。

会場内の市をPRするブースでは、アスパラガスなど特産品の販売が行われたほか、来場者に北上みちのく芸能まつりのチラシを配布するなどスポーツ以外の北上の魅力をアピール。ステージイベントでは東京鬼剣舞が鬼剣舞を披露し会場を盛り上げました。また、ブースの前に設置した雪だるまに、たくさんの子どもが足を止めていました。



市のブースの前で鬼剣舞を披露する東京鬼剣舞の皆さん

北上市PR動画コンテスト2017 動画募集

「やっぱり、北上だよな！」をテーマに北上っていいなあ！、北上のココが好き！などの共感ができ、市の良さや魅力が表現されている15秒の動画を募集します。入賞作品は、市のPR活動に無償で活用させていただきます。1人(1団体)何点でも応募できます。

問い合わせ 都市プロモーション課 ☎72-8308・8230

大賞(1作品) 賞金10万円 特別賞(2作品) 賞金2万円

◆応募方法

▷募集期間…9月25日(月)まで

※消印有効です。

▷応募資格…市が好きで市の魅力を発信したい個人や団体(市に住んでいる人・住んでいた人、市を訪れたことのある人など、市に関わったことのある人、当該個人が1人以上在籍する団体など)

▷応募方法…応募用紙と応募作品のDVD-Rを送付(〒024-8501住所記載不要都市プロモーション課宛)または直接同課へ

※募集作品の規格や注意事項をチラシや市のホームページで確認の上、応募してください。

●CM制作講座●

映像制作のプロが、魅力的なCMを作るポイントを分かりやすく教えます。気軽にご参加ください。

▷とき…6月24日(土)午後1時30分～3時30分、7月4日(火)午後6時～8時(両日同じ内容)

▷ところ…生涯学習センター第1学習室

▷内容…企画・構成とCM制作のポイントなどの解説、企画・構成の作成

▷対象…どなたでも

▷定員…各20人

▷参加料…無料

▷申し込み…6月13日(火)までに電話で同課へ

黒沢尻北高等学校と「きたかみ世界塾」の 推進に関する連携協定を締結

まちづくり人材育成事業「きたかみ世界塾」の推進に関する連携協定の締結式は8日、本庁舎で行われました。式では黒沢尻北高校の菊池浩校長と高橋市長が協定書を取り交わしました。

世界塾は、生徒が主体的に地域課題を捉え、その解決に向け行動することで、自ら学習を目的とした活動。同校が27年度から開始し、市は職員を派遣して生徒へ助言する



協定締結後に関係者で記念撮影を行いました

など支援を行ってきました。市は、協定の締結により、学校とより強固な連携・協力

西和賀町と連携し 雪を活用して地域の魅力を発信

雪を活用して地域の魅力を発信

北上・西和賀観光光連絡協議会は、東京都特別区主催のイベントに、地域資源の「雪」を届け、シティブロモーションを展開しています。雪を活用したプロモーションは今年で3年目。今年は14日の「わ！つくわくランドしながわ」(品川区)に8トン、あらかわ遊園(荒川区)の「雪であそぼうコーナー」に16トン、21日の第29回江東こどもまつり(江東区)の「いわての雪で遊ぼうコーナー」に16トンの雪を届けました。

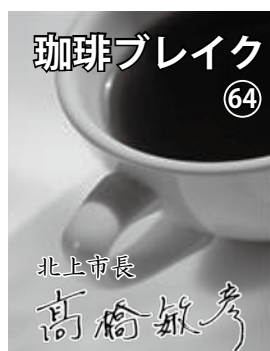
雪は西和賀町と夏油高原スキー場から各会場に届けられ、雪の滑り台や、雪と触れあうコーナーを設置。今年もたくさんの人で賑わいました。雪に初めて触れる子どもも多く、冷たさに驚きながらも、季節

体制を築き、生徒の地域貢献意識の向上が図られるよう、次世代のまちづくり人材の育成を支援していきます。本年度、同校は全学年で世界塾に取り組み、市は職員24人を派遣します。

外れの雪を楽しんでいました。会場では市と西和賀町の特産品の販売コーナーを設置して特産品の試食や販売を実施。また観光施設のパンプレットなどを配布し、雪とともに観光のPRも行いました。今後、雪を活用し、西和賀町と連携して市をPRしていく予定です。



あらかわ遊園の「雪で遊ぼうコーナー」。雪の滑り台には長い列ができました



レガシーを釜石へ

5月31日はご存じ、チャレンジャー。1日を通して15分間の運動をどれだけ多くの市民が行うか、その参加率を対戦自治体と競い合うイベントである。これまでの2年間は

友好都市の石垣市との対戦で、主に希望郷いわて国体の開催気運を盛り上げようと実施してきた。今年は秋田県大館市との対戦が決まっているが、ラグビーワールドカップ2019釜石大会を盛り上げるプログラムをそろえた。その一つが表題の「レガシーを釜石へ」である。

以前、多くのボランティアによって国立競技場の座席を北上陸上競技場に設置したことは、ご承知の通りである。今度はその座席を釜石市鶴住居に建設される新スタジアム

に設置するべく、釜石市からの依頼で300席を譲渡することにし、チャレンジャーのメインイベントとして駅伝で座席を釜石まで届けようとの企画である。ゲストの元マラソン選手でオリンピックのメダリスト、有森裕子さんにスタートを切っていただき、ゴールでは野田武則(たけのり)釜石市長が待ち受け、私が最終ランナーとして座席を引き渡すこととしている。

前回のラグビーワールドカップイギリス大会の優勝はニュージールランドのオールブラックス。その主将を務めた、リッチー・マコウ氏が今般来日し、当市でキッズ・ラグビークリニックを開催する。めったにない機会を得て、ラグビー選手を志す子どもたちは大喜びである。これらのイベントを通して、国内外との交流が図られ、当市のスポーツリズムが更に活性化してほしいものである。

大館市の昨年の市民参加率は65%。当市は57%。相当頑張らなければ太刀打ちできない相手である。一人でも多くの市民のご参加を期待したいものである。